

丹波市社協広報

ふくしほっと通信

2024
3月

117号

P2.3
特集

「助けて」に気づける地域に
〜変わりつつある地域と人〜

活動中のもしもの時に備えて「AED 講習会」の様子
詳しくは4ページのほっとニュースをご覧ください

「令和6年能登半島
地震災害義援金」を
募集

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災者に対し、兵庫県をはじめ、兵庫県共同募金会や兵庫県社会福祉協議会などを含む県内の14団体で構成される「能登半島地震兵庫県義援金募集委員会」を通じた義援金を募集しています。この義援金の使い道は、被災された方々の支援に役立てられます。義援金は社協本所・各支所の窓口で受付をしています。皆さんの温かいご支援をよろしくお願いします。



よりそい・うけとめ・ほっとがへん

社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原2715 ☎0795(86)7171

この広報は、皆さまにご協力いただいた社協会費により発行しています。

特集

「助けて」に気づける地域に

～ 変わりつつある地域と人～

皆さんは、近所の方に「助けて」と言えますか？

昔に比べて地域の中のつながり・支えあいが薄れつつあり、難しくなっているのではないのでしょうか。

丹波市社協では、誰もが安心して暮らせる「人にやさしい福祉の地域づくり」を行う中で、様々な方の協力を得ながら支えあいのしくみづくりに取り組んでいます。

今回、この取り組みを一緒に進めている皆さんに、地域支えあい推進員がインタビューしました。

*平成 28 年から丹波市より丹波市生活支援体制整備事業を受託して実施しています。

限られた時間の中で、いまできること

柏原地域支えあい推進会議 委員長 田中 義人さん



「このままでは大変なことになる」みんなで気付いた 8 年前。「みんなと一緒に、何か変えられそう」参加者の声、会場の熱気を体感した勉強会の数々。地域の想いや力を結集する場の必要性を共有し、生活者視点で地域の将来を考える場をみんなで立ち上げ、今日まで意見を交わし、つながりを活かした取り組みをつくってきました。

振り返ると多くの“当たり前の壁”にぶつかりましたが「変わったかな」と感じる事が多くあります。しかし今は土台作り、地域力が試されるのはこれからです。

これからも原点を忘れず“気軽に参加できる”“楽しさ”を大切に、みんなで築いたものを将来につないでいく、これが役割かなと思います。

安心して暮らせる幸世地区を目指して

ほっこりさちよサポート会議（幸世自治振興会）

振興会長 田中 健治さん（右）、副振興会長 細見 俊晴さん（左）

昨年 7 月から氷上町幸世地区で「ほっこりさちよサポート会議」が始まり、これまでそれぞれの立場で動いていた自治会長と民生委員・児童委員、民生・児童協力委員と一緒に話し合う機会をつくったことで、連携していくきっかけになりました。この平時からの連携と情報共有が災害など緊急時の対応につながるよう地域づくりを進めています。

会議では、こうならないといけないではなく話し合いの中からできる事を見つけていき、取り組みます。今後、会議で話し合ったことを各自治会に持ち帰ることで、取り組みにつながったり、新たな課題や疑問も出てくると思います。それを、また会議で話し合っていくようなキャッチボールができれば良いと思っています。



地域課題から皆がつどえる場へ

芦田支え合い推進会議（芦田自治振興会）

地域コミュニティ活動推進員 仲野 敏雄さん（左）、サロンボランティア 西川 照美さん（右）



芦田支え合い推進会議では、これまで協議を重ね、みんなの支えあいで作る「元気あしだ村」をスローガンに、住み慣れた地域で元気に楽しく暮らし続けたいという願いを実現するための取り組みを目指しています。

以前から誰でも立ち寄れるふれあいの場づくりについて自治振興会でも話はあったので、支え合い推進会議を通して計画を立ててサロンという形にすることができました。

サロンボランティアは、「その場にいる時間を楽しんでほしい」「来てよかったと思ってもらえる雰囲気」を心掛け、会場の飾りつけ等を工夫しています。また、気になる方に声かけし、サロンに来られない日は電話をして安否確認をしています。

来年度からは、デマンドバスを利用してサロンに参加できるように開催時間を早めるなど、どうしたらみんなが楽しく参加できるのか推進会議で協議しています。



自分に何かできる事を探していた時、くらし応援隊の講座を知り、勉強したいと思いました。くらし応援隊を始めてから、まずは行動することによっていろいろなことにチャレンジできるようになりましたし、依頼会員さんに優しく接していただけることが嬉しいです。

高齢になると近所の方とも出会う機会が少なくなり、おしゃべりをする機会も減ります。また、困っていることを「困っている」と言えない方もおられます。支援が必要な方が、何気ない日常の中で何人かとおしゃべりする機会があれば良いと思います。

今後は気楽なおしゃべりから、いろいろなことに気づける力を付け、浅くゆるくつながっているという安心感を依頼会員さんに感じていただけるように活動していきたいです。

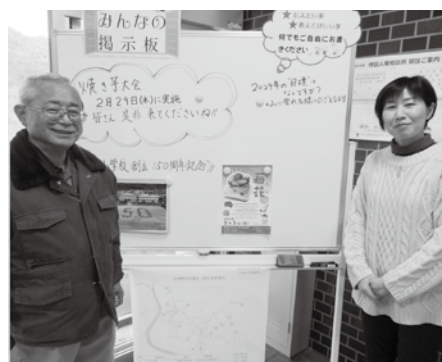
ちょっと元気な方はくらし応援隊の活動をぜひお勧めしたいです！

人と人をつなぐ掲示板 小川地区自治振興会 会長 大垣 則男さん、地域コミュニティ活動推進員 高階 ますみさん

社協主催の「これからの小川地区について考える“わちゃわちゃ会”」がきっかけで地域住民が生活する中で感じる困りごとや、小川地区をもっと良くするための意見を聞くことの必要性を感じ、そのための取り組みとして“みんなの掲示板”を設置しました。

さっそく掲示板を使って事業の協力者を募集したところ住民の方から情報提供があり、つながることができました。地域のことを一番よく知っているのは地域の住民であることを再認識しました。

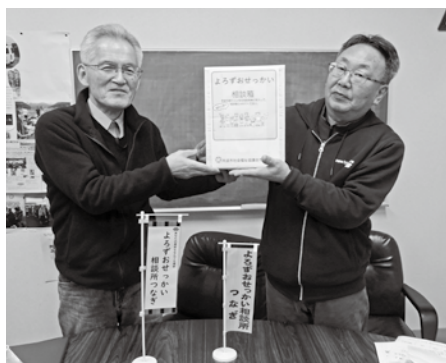
書かれた思いをヒントに、さらに地域を良くするための活動に活かしたり、交換日記のように気軽にメッセージを書いて情報交換をしたり、掲示板が様々な用途で皆さんに愛されるツールになると嬉しいです。



気軽な世間話を大切に

鴨庄地区地域支援会議（鴨庄地区自治振興会）

会議代表 吉見 正利さん（左）、地域コミュニティ活動推進員 小谷 正則さん（右）



社協からよろずおせっかい相談所つなぎの話を聞き、身近なところで相談ができるのは、地域にとって良い形だなと思い始めました。民生委員・児童委員とも協力している強みを活かし、途中から訪問する形の相談所も始めました。

今年度は相談箱をコミセンに設置し、相談用紙と民生委員を周知するチラシを全戸配布したところ、投函につながりました。「知らなかった」との声もあり、今回の記事もたくさんの方に知っていただくきっかけになればと思います。

気軽な世間話から悩みを話されることが多い印象なので、聞く側もキャッチできるように、相談のしやすさや、相談ごとを集約していくことが重要です。いろいろな方法を協議し、まずやってみることで、次を考えられます。関わる一人ひとりが意識をもって取り組みたいです。

社協の地域支えあい推進員 6 名が「支えあいのしくみづくり」をお手伝いします！

地域の皆さんと一緒に



地域の声を聴く！



情報をつなぐ！



話し合いの場をつくる！



地域でできること
必要なことを考える！



関係者と連携する！

1. 今・これからの生活を見直すきっかけに「家計改善セミナー」

2月28日、生活困窮者支援体制強化事業として「家計改善セミナー」を開催しました。このセミナーは、今の生活を見直し、これからの生活に向けてどのように自分の家計を改善したらよいかを講師の山田容子氏から教えていただきました。また、社協が行う日常生活自立支援事業に関わる職員・生活支援員も参加し、ご利用者への日々の支援に生かせるよう学びました。

参加者からは、「生活に追われてお金についてゆっくり考える時間がなかったので、よい機会になりました」「市の家計改善相談に行ってみようと思いました」などの感想がありました。家計のこと、お金のことを一人で悩まず、相談することから始めてみてはいかがでしょうか。



講座の様子

2. 活動中のもしもの時に備えて「AED 講習会」

3月5日、丹波市ファミリーサポートセンターの会員とくらし応援隊（高齢者への生活支援を行う有償ボランティア）を対象に、AED 講習会を開催しました。講習会では、丹波市消防本部から救急救命士にお越しいただき、一時救命（救急車が到着するまでの心肺蘇生）の大切さを教えていただきました。緊急時でも慌てず怖がらず、落ち着いて行動することの大切さを学び、実技も行いました。

参加者からは、「何度か救命講習会を受けたことがありますが、いざという時に備えて定期的に学び直すことが大切だと思いました」「子どもの救命処置を詳しく聞けて良かったです」と感想がありました。



真剣に実技を受ける参加者の皆さん

3. 受賞されました皆さま おめでとうございます

丹波市社協より推薦し、この度、受賞されました。（順不同 / 敬称略）

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

くすのき賞

こうのとりのり賞

のじぎく賞

全国社会福祉協議会 会長表彰

日原 恒子 8ページの「わたしのまちのほっとさん」でご紹介！

さちよボランティアグループ めめぎふれあい食堂

足立 計喜

大槻 佐知子

高見 一恵



4. 丹波市社協広報紙「ふくしほっと通信11月号（115号）」が優秀賞を受賞！

市区町村の社会福祉協議会が作成している広報紙（2023年度発行済）を対象とした「全国社協広報紙コンクール2023」で、丹波市社会福祉協議会の広報紙「ふくしほっと通信11月号（115号）」が優秀賞を受賞しました。

広報紙にご協力いただいた皆さま、いつもご覧いただいている皆さま、ありがとうございました。今後も皆さまに読んでいただける広報紙を発行していきたいと思ひます。

丹波市ファミリーサポートセンターへのお問い合わせは、
☎ 70-2244まで

ファミサポの活動をご紹介します



ファミサポの活動には、子どもの預かりや送迎があります。
今回は、子どもの預かり（託児）をご紹介します。

用事等で子どもを連れて行けない時、ファミサポを利用されています。ママのお迎えまで、センターの託児ルームでおもちゃや絵本・DVDを見たりして過ごしています。
お天気の良い日は、お外へお散歩にも行きます♪

利用するには、

○会員登録が必要です。
○利用料金は30分400円です。
＊詳しくはお問い合わせください。

【協力会員】

板谷 せつ子さん

協力会員と依頼会員の

声

【依頼会員】

坂田 安寿さん

あやと
彩翔くん
(1歳11ヶ月)

「活動にやりがい」

協力会員を始めて約18年、様々なお子さんの託児などを行っています。託児をするうちに慣れてくれ、よく笑ってくれるようになることがとても嬉しいです。また一人ひとりの成長を見られることもやりがいです。



「息子も安心できる場所」

近くに頼れる人がいないので、子どもを預かって欲しい時に、託児をしていただけてとても助かっています。最初は人見知りをしていましたが、今は慣れて、安心できる場所・人だと分かり、楽しく遊んでいます。

令和5年度 法人会員のご紹介 〈敬称略/順不同/令和5年11月1日～令和6年1月31日受付分〉

令和5年度丹波市社協会費へのご協力をお願いしたところ、多くの皆さまに貴重な会費を納入いただきました。誠にありがとうございました。

皆さまからお寄せいただいた会費は、地域福祉事業の貴重な財源として、大切に活用させていただきます。
「いつまでも安心して暮らせる地域」を目指し、今後も地域福祉の推進に努めてまいります。

法人会員

氷上支所	丹波トラック運輸事業協同組合	アシケン
	合同会社カドノ自動車	氷上観光有限会社
	ほのぼの薬局	

みんなの
ひろば



毎号、テーマに沿ったお便りを募集します！

今回のテーマは、「今、気になっていること」をハガキかメールでお送りください。

いただいた内容は次号の広報紙に掲載予定です。

お送りいただいた方の中から、抽選で5名様にたんば共通商品券を差し上げます。
(当選は発送をもってかえさせていただきます)

送付先：

↓ハガキはこちらまで

丹波市社会福祉協議会 みんなのひろば係
(〒669-3309 丹波市柏原町柏原 2715)

↓メールはこちらまで

vc@tambawel.jp

内 容：①住所 ②名前

③ペンネーム ④年齢

⑤「今、気になっていること」

⑥「ふくしほっと通信の感想」

善意銀行 の報告

令和6年1月・2月受付分

善意銀行では、市民の皆さまからの「地域のために使ってほしい」という思いのこもった預託（金銭や物品、技術）をお預かりし、地域福祉のために大切に活用しています。預託の受付は、本所・各支所で受け付けています。
皆さまのあたたかい善意をお待ちしています。

本所受付分

【金銭預託】

黒井 大槻 佐知子 様 2回
春日町獵友会有志 様
（岡田博美様、細見滋樹様、
村上正憲様、尾松悟様、
畑正昭様、足立昭二様、
都田直人様、的場彰彦様、
高見武様、田野諭様） 34,000円
山口県岩国市 桧山 聖一 様 30,000円
亡友人の供養として
匿名 様 1件

柏原支所受付分

【金銭預託】

柏原 柏原ライオンズクラブ 様 50,000円
クリスマスチャリティの
集金の一部
新井自治協子ども食堂へ

氷上支所受付分

【金銭預託】

横田 足立 道彦 様 2回
沼 明昌あすなろ会 様 2回
常楽 カラオケ喫茶 歌今翔 様
柏原 丹波市生活研究グループ
連絡協議会 様 8,500円

【物品預託】

下新庄 匿名 様 食品
成松 久恒 ひさ子 様 日用品

青垣支所受付分

【金銭預託】

小倉 大森 順子 様 亡夫の供養として

春日支所受付分

【金銭預託】

国領 国領地区戦没者
遺族一同 様 （1月）5,000円
（2月）5,000円
国領地区遺族会を解散した
ための会の残金
多利 荻野 正憲 様 34,400円
2023年
城山登山344日達成記念
穀友会氷上支部 様 6,666円
穀友会氷上支部
解散による残金
朝日 匿名 様 10,000円

【物品預託】

国領 葦原 孝義 様 衣類
平松 滝本 幹雄 様 野菜
野上野 尾松 賢作 様 木工細工

山南支所受付分

【金銭預託】

冒険投資家
岡崎 健一 様 20,000円

【物品預託】

竹安 功 様 衛生用品

市島支所受付分

【金銭預託】

旧市島町職員
退職者会 様 6,596円 解散による預託

*預託内容等の掲載については、本人の意思を確認しています。預託理由については、一部省略しています。 *金銭預託は寄付金控除の対象になります。

相談予定カレンダー

▶相談時間 午後1時～午後4時
(1枠30分)

▶予約受付 ☎ 86-7171

(土日祝を除く
午前8時30分～午後5時15分)

弁護士による無料法律相談日の予定です。(予約制)

開催場所	相談日	予約開始日
柏原福祉センター	4月9日(火)	3月27日(水)
氷上住民センター	4月23日(火)	4月10日(水)
青垣住民センター	5月14日(火)	5月1日(水)
春日福祉センター	5月28日(火)	5月15日(水)
山南福祉センター	6月11日(火)	5月29日(水)
ライフピアいちじま	6月25日(火)	6月12日(水)

《よろずおせっかい相談所》 市内社会福祉法人で日常の悩みや不安等のさまざまな相談を受け付けています。

～読者からのお便利コーナー「2024年の目標」～

- ・週1回の休肝日！（春日町 メタ坊さん）
- ・自転車に乗る時に、自分の体を思っヘルメットをつけること（市島町 Yさん）
- ・忙しい時も子どもたちの目を見て話を聞くこと（山南町 母ちゃんさん）

お便利ありがとう
ございました！



お知らせ

丹波市社協が行う講座や事業等のご案内です

介護職員初任者研修の受講者募集！

- ▷ 募集対象 丹波市在住または在勤で、原則すべての講義に出席でき、かつ訪問介護等に従事することを希望される方。
- ▷ 受講期間 5月12日（日）～10月27日（日）
* 毎週日曜日に講義があります（計19日間）。
* 講義とは別に、平日に実習があります（計2日間）。
- ▷ 受講料金 29,000円
- ▷ 研修場所 春日福祉センター（丹波市春日町黒井1500）
- ▷ 申込期間 4月15日（月）～4月26日（金） 必着

ホームヘルパーになった。
人が好きになった。



お問い合わせ・申し込み方法

丹波市社会福祉協議会 介護保険課

電話：86-7171 住所：〒669-3309 丹波市柏原町柏原2715（柏原福祉センター）

受講申込書に必要事項を記入し、丹波市社会福祉協議会介護保険課へ郵送または持参ください。

令和4年度の修了者の



現在、登録ヘルパーとして活躍中の2名にインタビューをしました



ご利用者宅にて

研修で働く自分をイメージ（訪問介護員）

家族の介護をしていた時、上手くいかなかった経験が心の中に残っており、「一度受講してみよう！」と思い受講しました。受講のための時間は必要でしたが、一緒に受講する仲間ができ、楽しみながら学ぶことができました。また、現場での実習を通して、今後介護職として働く姿をイメージすることができました。

実際の仕事は、介護だけでなく、いろいろな支援があり、ご利用者との会話も楽しみながら訪問しています。今後、信頼される介護職員を目指したいと思います。

この仕事を選んでよかった（訪問介護員）

以前から福祉職に興味があり、生活と両立できる仕事がしたいと思い受講しました。福祉事業所で働かれている講師が多く、市内の福祉の現状なども学ぶことができました。

現在、訪問介護員として働く中で、ご利用者との信頼関係が築けていくと「この仕事を選んでよかった」と感じています。今後、経験を積んで知識や技術を深め、ご利用者の困りごとなどを捉えることができる介護職員を目指したいと思っています。

令和6年度ボランティア・市民活動災害共済加入申し込み受付中

ボランティア・市民活動災害共済は、ボランティア活動中の万が一の事故に備えていただくためのものです。

補償項目	ボランティア保険	傷害補償
		賠償責任補償
	死亡見舞金（市民活動災害共済プランのみ給付対象）	
加入申込者	社協に登録された団体および個人ボランティア	
補償期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで （年度途中の加入については社協が受け付けた翌日から）	
年間掛金	1名につき500円＜市民活動災害共済プラン＞	
	1名につき600円＜天災危険補償プラン＞	
加入手続き	共済（保険）パンフレット、加入申込書は社協本所・各支所の窓口にあります。 必要事項を記入の上、最寄りの社協各支所にお金を添えてお申し込みください。 ※4月1日から加入を希望される方は3月29日（金）までにお申し込みください。 随時、行事用保険・移送サービス交通傷害保険も受け付けています。	

お問い合わせ 丹波市ボランティア・市民活動センター（丹波市社協本所） 86-7171

わたしのまちの
ほっと
さん

朗読ボランティアかけはし
日原 恒子 さん（山南地域）

活動を始めたきっかけ

仕事をやめて社会奉仕の活動をしてみたい、誰かのために何かやってみたいと思っていたところ、朗読グループとして活動されていた方から声をかけられたのがきっかけで、すぐに『やります!』と伝えました。

パワーの源

バランスの取れた食事と運動（1日 5,000 歩を目安）

ボランティア活動の一番の思い出

阪神淡路大震災の後にボランティアグループ会員で協力して、被災された1人暮らしの方へ野菜を届けて回ったことが印象深いです。皆さん大変喜んでおられた様子が記憶に残っています。

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞

これまで活動してこられた先輩方や今も一緒に活動している仲間たちがいるおかげです。1人で受賞したわけではなく、山南のボランティアグループ全体に対して表彰をいただいたと思っています。

丹波市広報紙や新聞記事を CD に吹き込み、目の不自由な方へ音声で情報を届けるボランティアを始めて 30 年。これまでの活動が評価され、**ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞**されました。

お知らせ

令和 6 年度から丹波市社協組織を改編します

令和6年4月1日から、職員の業務効率化を図り、効果的に地域支援に関われるようにするために、支所を圏域化します。

これまで通り各地域の窓口には職員が常駐し、業務にあたります。

支所と分室の名称	設置場所	電話	所管区域
南部支所 南部支所 山南分室	丹波市柏原町柏原 2715 丹波市山南町野坂 176	72-1236 77-2359	柏原・山南地域
西部支所 西部支所 青垣分室	丹波市氷上町常楽 209-1 丹波市青垣町佐治 114	82-4613 87-0084	氷上・青垣地域
東部支所 東部支所 市島分室	丹波市春日町黒井 1500 丹波市市島町上田 814	74-0477 85-0517	春日・市島地域

ホームヘルプセンターと訪問入浴サービスセンターが統合します。

これに伴い、訪問入浴の住所・電話番号が変更となります。

名称	設置場所	電話
ホームヘルプセンター (訪問介護・居宅介護・同行援助)	丹波市柏原町柏原 2715	南部 72-1125
		西部 72-1102
		東部 72-1103
ホームヘルプセンター (訪問入浴介護・訪問入浴サービス)	丹波市柏原町柏原 2715	訪問入浴 72-1102